



「完全に壊滅だ。ゼロじゃなくマイナスからの出発。だけどもれには宝が残った。うちの社員と、みなさんとのつながりとみなさんからの支援。こんなに支援してもらってあきらめたらばちがあたる。津波なんかを負けてたまるか」(河野和義さん・岩手県陸前高田市・八木澤商店会長) 写真=宮嶋康彦

大震災を 生き抜いて

津波は、200年以上の歴史を誇る蔵も工場も店も自宅もすべてを押し流した。数日して、離れたところに杉の樽が見つかった。樽にかすかにへばりついたもろみを見て、経営者は伝統の生揚醤油の完全復活を誓う。